



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 フリュー株式会社 上場取引所 東
コード番号 6238 URL <https://www.furyu.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）榎本 雅仁
問合せ先責任者 （役職名）財務経理部 部長 （氏名）谷 直樹 TEL 03-5728-1761
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,104	0.6	702	8.3	707	8.5	463	6.2
2025年3月期第1四半期	10,046	0.7	648	△50.7	651	△48.4	436	△48.1

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 413百万円（△21.4％） 2025年3月期第1四半期 526百万円（△46.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	17.49	—
2025年3月期第1四半期	16.49	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	27,197	21,800	80.2
2025年3月期	28,110	22,424	79.8

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 21,800百万円 2025年3月期 22,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	39.00	39.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	39.00	39.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	1.6	3,000	34.0	3,000	31.5	2,150	32.1	81.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) フリュー・ピクチャーズ株式会社、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	28,296,000株	2025年3月期	28,296,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,817,825株	2025年3月期	1,817,325株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	26,478,219株	2025年3月期1Q	26,440,011株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(BBT-RS)」が保有する当社株式(2026年3月期1Q 120,000株、2025年3月期 120,000株)が含まれております。また、「株式給付信託(BBT-RS)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2026年3月期1Q 120,000株、2025年3月期1Q 1株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）における我が国の景気動向は、6月の日銀短観における大企業の景況感は改善したものの、米国の関税政策などの影響から多くの企業が先行きを慎重に見ており、景気動向は引き続き不透明な状況であります。

このような環境において当社グループは、企業理念「人々のこころを豊かで幸せにする良質なエンタテインメントを創出する！」のもと、プリントシール事業の拡大、若年女性層に強みを持つ当社の顧客基盤を活用したマネタイズの多様化、キャラクターIP（知的財産）を利用した商品販売に注力し、2028年3月期を最終年度とする「中期ビジョン」実現に向けた取り組みを行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は10,104百万円（前年同期比100.6%）、営業利益は702百万円（前年同期比108.3%）、経常利益は707百万円（前年同期比108.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は463百万円（前年同期比106.2%）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（世界観ビジネス）

世界観ビジネスにおきましては、定番キャラクターや、人気漫画作品及び世界的人気ゲーム等のトレンドを踏まえた多数のIPの獲得とその商品化に引き続き注力し、売上は着実に伸長しました。

なお、中国で生産する商品はドル建て決済を行っていますが、仕入費用支払に対する為替予約の実施、海外取引先とのドル建て取引の拡大により、為替変動による営業利益への影響を抑制しております。

クレーンゲーム景品は、クレーンゲーム市場拡大と複数の人気IPの商品化に加え、インバウンド需要が後押しした結果、売上が堅調に推移しました。

海外物販は、主要マーケットである中国及び米国、欧州を中心に、売上が前年同期比で増加しております。米国向けは米国関税政策の影響が懸念されるものの、新規販路の拡大や米国だけでなくその他海外向けの商品化権の取得に注力し、商品展開の拡大を図っております。

高価格帯ホビーは、収益性を重視した人気IPの商品化を推進し、ホビーECサイト「FURYU HOBBY MALL（フリーホビーモール）」を活用した販売促進に引き続き注力しております。

この結果、世界観ビジネスにおける当第1四半期連結累計期間の売上高は6,293百万円（前年同期比107.6%）、営業利益は618百万円（前年同期比121.2%）となりました。

（ガールズトレンドビジネス）

プリントシール事業におきましては、新型コロナウイルス感染症がもたらしたライフスタイルやニーズの多様化といった外部環境の変化に対応するため、従来よりも「+αの価値」を体験できる新機種の開発や、定番人気キャラクターとのコラボの実施などにより、プレイ数拡大を図りました。2025年4月には、「2025年サンリオキャラクター大賞」との期間限定コラボを実施、2025年5月には、ハイアングル撮影が楽しめる次世代型新機種「Hyper shot（ハイパーショット）」を発売しました。また、全国のアミューズメント施設の協力のもと、プレイ促進キャンペーンも引き続き実施して市場活性化を図りました。しかしながら、施策単体での効果はあったものの、市場全体の底上げには至らず、当第1四半期連結累計期間のプレイ回数は638万回（前第1四半期連結累計期間は711万回）と前年同期比で減少しました。

プリントシール画像取得・閲覧サービス「ピクトリンク」におきましては、重要なKPIと位置付けている有料会員数は、会員規模を維持するための新規入会者の流入強化施策を実施したものの、2025年6月末時点で130万人（2024年6月末時点は140万人）と前年同期比で減少しました。なお、2024年11月には、ピクトリンクの閲覧機会を増やし、プリントシール機での撮影動機を喚起するためのカレンダーアプリ「ピクトリンクカレンダー」の提供を開始し、そのアプリを活用した利用者数拡大と退会数抑制を図る戦略を本四半期においても推進しております。

この結果、ガールズトレンドビジネスにおける当第1四半期連結累計期間の売上高は3,365百万円（前年同期比99.1%）、営業利益は663百万円（前年同期比75.2%）となりました。

（フリーニュービジネス）

家庭用ゲームソフト事業につきましては、既存タイトルの国内外におけるダウンロード販売が順調であり、前年を上回る売上となりました。また、8月発売の新作タイトル「ヴァレット／VARLET」の宣伝活動を実施、受注を開始しております。

アニメ事業は、4月に出資タイトル「Summer Pockets」の放映を開始、TVアニメ「ゆるキャン△」のくじ商品の発売や過去作品の配分金等が、売上に貢献しております。

この結果、フリーニュービジネスにおける当第1四半期連結累計期間の売上高は446百万円（前年同期比55.8%）、営業損失は27百万円（前年同期は202百万円の営業損失）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が27,197百万円、負債が5,397百万円、純資産は21,800百万円となりました。また、自己資本比率は80.2%となりました。

（資産）

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ912百万円減少し、27,197百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加586百万円、無形固定資産の増加109百万円があった一方で、現金及び預金の減少1,363百万円、電子記録債権の減少233百万円があったことによるものであります。

（負債）

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ289百万円減少し、5,397百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加205百万円、賞与引当金の増加170百万円があった一方で、流動負債のその他の減少596百万円があったことによるものであります。

（純資産）

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ623百万円減少し、21,800百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加463百万円があった一方で、配当金の支払いによる利益剰余金の減少1,037百万円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,733,051	10,369,617
受取手形及び売掛金	4,103,294	4,058,510
電子記録債権	1,044,899	810,907
棚卸資産	2,912,342	3,498,744
その他	2,604,839	2,594,060
貸倒引当金	△5,246	△2,747
流動資産合計	22,393,180	21,329,093
固定資産		
有形固定資産	2,940,927	2,980,357
無形固定資産	971,048	1,080,596
投資その他の資産		
その他	1,821,969	1,824,076
貸倒引当金	△16,650	△16,610
投資その他の資産合計	1,805,319	1,807,466
固定資産合計	5,717,295	5,868,420
資産合計	28,110,476	27,197,513
負債の部		
流動負債		
買掛金	659,006	674,370
電子記録債務	714,657	647,341
未払法人税等	62,306	267,742
賞与引当金	—	170,427
受注損失引当金	44,319	23,865
その他	3,881,791	3,285,039
流動負債合計	5,362,082	5,068,786
固定負債		
役員株式給付引当金	8,686	1,170
退職給付に係る負債	309,728	316,908
その他	5,945	10,182
固定負債合計	324,360	328,261
負債合計	5,686,442	5,397,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,216	1,639,216
資本剰余金	1,614,716	1,614,716
利益剰余金	21,098,548	20,524,221
自己株式	△1,949,562	△1,949,562
株主資本合計	22,402,918	21,828,591
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△48,656	△81,791
為替換算調整勘定	23,972	7,661
退職給付に係る調整累計額	45,798	46,003
その他の包括利益累計額合計	21,115	△28,125
純資産合計	22,424,034	21,800,465
負債純資産合計	28,110,476	27,197,513

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
売上高	10,046,423	10,104,857
売上原価	5,879,324	6,245,027
売上総利益	4,167,099	3,859,829
販売費及び一般管理費	3,518,183	3,156,868
営業利益	648,915	702,961
営業外収益		
助成金収入	551	—
為替差益	5,782	4,408
その他	71	70
営業外収益合計	6,405	4,478
営業外費用		
支払利息	94	104
支払手数料	750	—
支払補償費	2,700	—
その他	89	8
営業外費用合計	3,633	113
経常利益	651,686	707,326
特別損失		
固定資産除売却損	156	3,700
特別損失合計	156	3,700
税金等調整前四半期純利益	651,530	703,626
法人税等	215,479	240,605
四半期純利益	436,051	463,020
親会社株主に帰属する四半期純利益	436,051	463,020

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	436,051	463,020
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	89,755	△33,134
為替換算調整勘定	—	△16,310
退職給付に係る調整額	568	204
その他の包括利益合計	90,324	△49,240
四半期包括利益	526,375	413,779
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	526,375	413,779

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

（連結の範囲の重要な変更）

当第1四半期連結会計期間より、新設分割により新たに設立したフリー・ピクチャーズ株式会社を連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	478,717千円	485,592千円

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	世界観ビジネス	ガールズトレンドビジネス	フリーニュー ビジネス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,851,116	3,395,695	799,610	10,046,423	—	10,046,423
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,851,116	3,395,695	799,610	10,046,423	—	10,046,423
セグメント利益又は損失 （△）	510,061	881,821	△202,227	1,189,654	△540,739	648,915

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額△540,739千円には、セグメント間取引600千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△541,339千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	世界観ビジネス	ガールズトレンドビジネス	フリーニュービジネス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,293,398	3,365,125	446,333	10,104,857	—	10,104,857
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,293,398	3,365,125	446,333	10,104,857	—	10,104,857
セグメント利益又は損失 (△)	618,029	663,436	△27,835	1,253,630	△550,669	702,961

（注） 1. セグメント利益又は損失の調整額△550,669千円には、セグメント間取引6,487千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△557,156千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。